

1) 適用規則

本レガッタは、国際セーリング競技規則(2017~2020)、日本ヨット協会規程およびこの帆走指示書を適用する。

2) 参加資格

実施要項による。

3) 参加者への通告

参加者に対する通告は、大会本部(2階大会議室)に設けられたレガッタの公式掲示板に掲載されるか、又は艇長会議の際に通告する。

4) 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、艇長会議の際に通告するか、当日のレーススタート1時間前に掲示する。

5) 陸上で発せられる信号

5.1 陸上で発する信号は、08:00~17:00の間にクラブハウス2階テラスのフラッグポールに掲揚される。

5.2 AP旗が陸上で掲揚された場合、予告信号はAP旗降下後の「1分後」を「30分以降」と置き換える。

6) レース日程は次の通りとする。(実施:1レース)

受付(2階大会議室) 9:00 ~ 10:00

艇長会議(1階 藤沢市ヨット協会前のボードウォーク) 10:00

レーススタート予告信号 11:15 (第1グループ) クラス旗 赤色

11:20 (第2グループ) クラス旗 青色

11:25 (第3グループ) クラス旗 黄色

表彰式(予定) 15:00

7) グループ旗

第1グループ: 赤色旗 (YN 86以下の艇種)

第2グループ: 青色旗 (YN 87~109の艇種)

第3グループ: 黄色旗 (YN 110以上の艇種)

各グループはレース委員会支給のグループ別リボンをセールのピークに取り付けなければならない。

8) レースエリア

レースエリアは“A海面”とする。

9) コース

別紙の図による。(トライアングルコースの中央スタート。中央フィニッシュ)

第1グループのコースは、S-1-2-3-1-2-3-1-2-3-F (3周)

第2グループのコースは、S-1-2-3-1-2-3-F (2周)

第3グループのコースは、S-1-2-3-F (1周)

10) マーク

第1,2,3マークはオレンジ色の円筒形のブイである。

11) スタート

① スタートはレース・コミッティー・ボート(以下RC艇と記す)のオレンジ色の旗を掲げたポールとアウト側に設置されたオレンジ色のマークの間とする。スタートおよびリコール信号は、RC艇から発せられる。

② レースは、6)項および規則26に従いスタートする。

予告信号掲揚(5分前) グループ旗(掲揚) 音響1声

準備信号掲揚(4分前) P旗またはI旗またはU旗(掲揚) 音響1声

準備信号降下(1分前) P旗またはI旗またはU旗(降下) 音声1声

スタート グループ旗(降下) 音響1声

③ 準備信号がまだ発せられない艇は、スタート・エリアから離れ、準備信号が発せられたすべての艇を避けなければならない。

12) U旗規則

規則30『U旗規則』が適用されたレースにおいて、ゼネラルリコール後にU旗規則の場合、同規則に違反した艇は復帰できる。

13) リコール

① リコールの場合には、『X旗』が音響1声と共に揚げられる。スタート信号から4分以内に正しくスタートできなかったヨットは、DNSとみなされる。

② ゼネラルリコールは第1代表旗が音響2声と共に揚げられる。この信号が発せられた時には、新しい予告信号は第1代表旗が降下した1分後に音響信号1声と共に揚げられる。

14) スタート後のコース変更

3グループが同一コースで週回数を変えてのレースを行うために、実施しない。

15) フィニッシュ

① フィニッシュ・ラインは、レース・コミッティー・ボートのオレンジ旗を掲げたポールとオレンジ色のマ

ークの間とする。フィニッシュ・ラインを設定するコミッティー・ボートは青色旗を掲げる。

② コース短縮の為マーク3でS旗を掲揚した場合、フィニッシング・ラインは、15)①と同様とする。

16) タイムリミット

タイムリミットは各グループスタート後 150 分とする。

17) レース中止、再レース

① レースの中止再レース（海上待機） N旗と音響信号3声

② レースの中止陸上にて次の指示 N旗とH旗と音響信号3声

③ レースの延期陸上にて次の指示 AP旗とH旗と音響信号2声

18) 抗議

抗議は大会本部で入手し得る書式に記入し、最終艇がフィニッシュ後1時間以内に大会本部に提出しなければならない。（2階大会議室）

19) 得点

① 各ヨットの順位はレース所要時間をヤードスティックナンバーで除去した修正時間により決定する。各ヨットのヤードスティックナンバーは別に掲示する。

② 同一修正時間のヨットは、ヤードスティックナンバーの大きい方のヨットが上位とする。

20) 失格に代わる罰則

競技規則 44.1. 44.2 を適用する。

21) 帰着の確認

出艇はエントリー、帰着は帰着申告書の記入により、出艇及び帰着を確認する。帰着確認は1階ボードウォーク（市協会事務所前）

22) 賞

総合成績第1位から第6位までに賞が与えられる。

また、藤沢市在住、在勤（チーム内の1名が藤沢市在住又は在勤であればよい）のチームで第1位から第6位までの成績に藤沢市賞が与えられる。

23) 安全

各艇の安全備品（アンカー、パドル等）は各クラスの安全規則に基づいて積載すること。ライフジャケットをハーバーより出艇し帰着するまで必ず着用していなければならない。

安全に関する一切の責任は、各参加者に有り、レース委員会の故意、又は作為による事故以外はレース委員会は責任を負わない。またレスキュー活動は人命救助を目的とするため、艇体を放棄することもある。安全の立場から、レース委員会の判断でレースを中止することもある。

24) 自艇で発生したゴミは海上投棄不可。必ず持ち帰り陸上で処分すること。

図：レースコース（藤沢市オープンヨットレース）

第1グループのコースは、

S-1-2-3-1-2-3-1-2-3-F （3周）

第2グループのコースは、

S-1-2-3-1-2-3-F （2周）

第3グループのコースは、

S-1-2-3-F （1周）

